

テーマタイトル：「医療問題」

テーマ責任者（所属、電話番号）：池上 直己

（医学部医療政策・管理学教室／内線 6 2 7 1 3）

1. 授業コマ数：10 コマ

2. 授業場所：会議室 8（総合医科学研究棟 8 階）

3. 受入学生数：最大 10 名

4. 授業の目的、内容、意義など

医療の仕組みは非常に複雑であり、その全容を把握するためには各論をある程度知っている必要があるが、各論を理解するには全容の理解が必要である。こういう構造があるために、一般の国民はもちろん、医学部の学生諸君にも近寄り難い課題になっている。しかし、将来、社会において医師として活躍するためには、医学知識だけでは不十分であり、医療についての洞察も必要である。

そこで、本セミナーでは、まず医療問題への関心を深めるために、毎回、各自が切り抜いてきた医療関連の新聞記事について発表し、議論する。また、医療を体系的に理解するために、「医療問題－改訂 3 版」に沿って解説、討議する。そして、最後の回において各自が予め選んだテーマについて発表し、レポートを提出する。したがって、単位を取得するには、以下が必要である。

- ① 新聞を毎日読み、医療関連記事を切り抜き、毎週行う発表に備える。
- ② 教科書となる本の該当する章を予め読み、セミナーの議論に参加する。
- ③ 医療に関連するテーマについて調査し、レポートにまとめると同時に、主な成果を最終回において発表する。

教科書となる本は 4 章より構成され、1 章は患者と国民がそれぞれ医療に抱いている要求を整理したうえで、医療サービスの特徴から医師の立場を明らかにし、三者の利害を調整する必要性を述べる。2 章は、日本の医療を 1 章の枠組みで解析し、課題を分析する。3 章は、2006 年に成立した医療改革関連法がどこまで課題に対応できるかを検討する。最後に 4 章は、医療と密接に関連する介護保険について、成立の背景から今後の課題まで、医療との関係で分析する。以上のように医学生に身近な医療について学ぶことを通じて、社会科学の基本的な考え方を身につけることも本テーマのねらいの一つである。

5. 参考書または教科書：事前購入し、熟読のこと

池上：医療問題－改訂 3 版、日経文庫ベーシックシリーズ、2006

テーマ：医療問題

担当者：池上直己（医療政策・管理学教室）

回	月 日	時限	サブテーマ（担当者）
第 1 回	6 月 3 日（木）	第 3 時限	全体的な概説、進め方の解説
第 2 回	6 月 3 日（木）	第 4 時限	医療問題の構造
第 3 回	6 月 10 日（木）	第 2 時限	日本の医療制度
第 4 回	6 月 10 日（木）	第 3 時限	2006 年からの医療改革
第 5 回	6 月 10 日（木）	第 4 時限	テーマについての相談
第 6 回	6 月 17 日（木）	第 2 時限	介護保険の概要と改革の課題
第 7 回	6 月 17 日（木）	第 3 時限	テーマについての調査研究
第 8 回	6 月 17 日（木）	第 4 時限	テーマについての相談
第 9 回	6 月 24 日（木）	第 3 時限	テーマの成果を発表
第 10 回	6 月 24 日（木）	第 4 時限	テーマのレポートを提出

第 1 時限	9:00 ~10:30
第 2 時限	10:45 ~12:15
第 3 時限	13:00 ~14:30
第 4 時限	14:45 ~16:15
第 5 時限	16:30 ~18:00